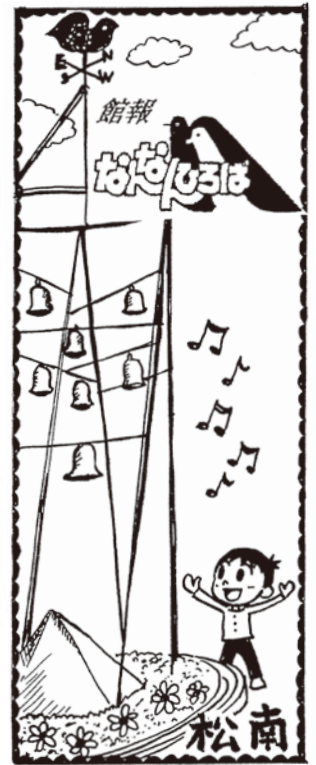


出典：令和元年6月1日町会別年齢別人口構成 松本市情報政策課調べ



松南地区 町会別
75歳以上の人口

松南地区 町会別
75歳以上の一人暮らし人数

松南地区・町会別 高齢人口調査について

私達松南地区の現実がこの二つのグラフに出ています。各町会の皆さんご自身の所は如何でしょうか。

75歳以上の高齢者は、全体で15%ですが、県住、市住が集中している南松本二丁目、芳野町は20%を超え5人に1人です。次いで南松本一丁目、双葉南が18%以上で20%に迫っています。

75歳以上で一人暮らしをしている人は、全体で35%ですが、南松本一丁目、南松本二丁目、芳野町では40%を超えています。

(百瀬 壽)

「ゴミゼロ」運動

5月26日(日)、ゴミのポイ捨て防止を図るため、啓発活動及び清掃活動を実施いたしました。松本市中から大勢の人が市役所に集まり、4コースに分かれて行われました。

我々はこの3地区、企業、子供団体などと、市役所から旧開智学校、中央図書館コーラスでした。地区からは25名に参加をしていただきました。ご苦労様でした。

数日前に「旧開智学校国宝に」という報道がありました。和風と洋風の要素の入り混じった「擬洋風建築」が評価された様です。ゆつくり開智学校を見たことがなかったので良い機会になり、学校の周りのゴミを拾いながら見てくださいました。観光バスも来ており見学の人も大勢写真を撮っていました。

環境衛生協議会 視察 研修

6月18日(火)、地区環境衛生協議会で、市クリーンセンター、リサイクルセンターを午前中に、午後は宮瀬下水道浄化センターを研修させていただきました。

平瀬のクリーンセンターは、全国でもトップクラスの高性能施設で、建設から20年も経つのに未だ誇れるものがある。耐用年数が来ているとのことですが、少々リフォームして寿命を伸ばすという事です。建て替えるには、380億円と5年の歳月がかかるそうです。ごみ焼却により発生する熱は、廃熱ボイラーで蒸気として回収し、蒸気タービン発電機により最大6,000kWの発電を行い、



金子 幸治

場内、ラーラ松本及び野球場照明の電力を賄うほか、余剰電力は電力会社に売電しているとのこと。また場内、ラーラ松本にも熱供給を行っているそうです。
リサイクルセンターでは、缶・空き瓶・ペットボトルの選別と同じに、綺麗な物・汚れている物の選別をキッチンとし、選別されていないと、手間と費用がかさんでしまうので、是非お願いしたいという要望がありました。今後は、より一層の分別をして出したいと思えます。

浄化センターも松本は日本の屋根、美しい水を維持する為、とても努力しているとのことでした。公害防止を図り、特に排ガスに関しては厳しい自己規制を設定しています。環境衛生協議会長

社協ふれあいまつりは、関係する障害者施設や松本市赤十字奉仕団のご協力をいただき開催しています。

四賀地区の卵かけご飯、奈川地区の山菜おこわなど、社協の出先機関の食材を使った豚汁などの提供は毎年好評となっております。

また、ステージ発表でのスーパードライズのダンスパフォーマンスは、会場もステージのメンバーもお互いに盛り上がり楽しめました。総合社会福祉センターの改修に伴い芝生広場で、福祉ひろばとの同時開催となっております

が、改修終了後は天候を気にせずにできる大会議室を主会場にしたセンター内にするのか、外の開放的な雰囲気と福祉ひろばまつりと合わせてより賑やかになるか、今年度のやり方を継続するかは、今後様々な意見を集約し検討していきたいと思っております。

松本市社会福祉協議会
地域福祉課 塩原 敏宏

社協ふれあいまつりから



第17回ひろばまつりが6月8日(土)曇天

の中開催されました。ここ数年、福祉ひろばまつりは隣

接している総合社会福祉センターのふれあいまつりと同日開催で、大勢の人が足を運んでくれます。

ひろばでは、町会長は焼きそばコーナーを、民生委員は子供向けの工作コーナー、育成会はポップコーンコーナーを、松南地区ボランティアは手作り品販売と地区の各団体がブースを担当してくれています。全て無料配布となっております

大人から子どもたちまで楽しんでいただける様に工夫しています。ただ、同日開催ということですが、一方ひろばの中にまで足を運んでくれる方が少ないということ、なかなかひろばの紹介はできないかなという実情になっています。今後、ひろばまつりはどう開催するかもひとつの課題となっております。

松本市社会福祉協議会
地域福祉課 新田 洋子



信明中学校の様子と新たな試み

参観日の感想から
『授業参観』

我が家は中学生が今年はいないので、全クラスを廻ってききました。落ち着いた雰囲気にと安心でした。
『メディアアテリアシー講演会』

内容も今時風で興味深かったのですが、それ以上に子ども達が静かにきちんと姿勢を正して聞く態度に感心しました。
『地区懇談会』

例年、地区の公民館に学校の担当職員が出向き行っていました。今年度は授業参観日に合わせ、学校に地区の役員さん達が行き実施しました。

私達の町会から役員が3人も出席したのに対し、保護者が少人数で残念でしたが、例年だと地区に先生がお越しいただいていたので、新鮮で良いなと感じました。
(百瀬 壽)

中学生と話してみた

6月13日、信明中学校で生徒と住民の懇談会が行われました。小学生までは地域行事で接点がありますが、中学生になると縁遠くなるのが普通。相互理解のための接点を探る話し合いです。

さすが生徒会役員です。意欲的で行動力があり、現実を直視した意見を述べていました。一斉清掃や期待されるゴミ出し、雪かきなどボランティアの意義を承知しながら、「やらされ感」の克服を模索し、また住民の「出前授業」のマンネリ化打開策も提案されました。さらに地域行事への参加意欲も高く、自分たちの役割を語る生徒、災害時の中学生の役割に視野を広げる生徒もいました。
雪かきには時間や道具やチームが必要など、企画の実現には学校・地域それぞれに配慮や準備が必要です。また多くを進めようは無理。今ある行事に有志が参加し合うことから始めるのも知恵です。
初めての懇談会ですが、中身のある話し合いです。生徒会の三本柱は、「校風・清掃・交流」とのこと。「交流」を具体化するため、ボウリング大会をはじめレクリエーション行事に中学生を開放してみよう。さわやかな感動とともに、未来への期待が膨らむように思えます。
(白澤 幸男)



コラム松南

昨今、高齢者のニュースが頻繁に耳に入る様になった。アクセルとブレーキの踏み間違いによる大きな事故。又、高齢者を対象に特殊詐欺事件が続いている。そして、老後による年金生活が危うく、不安を煽る発言が問題になっている。

交通事故は、年齢による適正な身体機能(判断能力と運動能力)が著しく損なわれていないのを自覚していないのが原因と思う。免許返納については、家族との話し合いが必要不可欠。詐欺事件においては、毎日マスコミ報道されている中、大半の人が他人事で見過ごしおり危機感が全くなく、ターゲットが自分に向くと後先が見えず誘導されてしまう。「還付金があるから暗証番号を教えて欲しい」と促されても慎重かつ冷静に対応して欲しい。そして、人生100年時代に入って年金者の生活費が底をつく不安を煽る発言は年金者を脅かすだけ。国は如何に救う道があるか、とことん突き詰めて欲しいと思う。

これからは、健康第一に地域との交流を育んでいきたい。
(児嶋 正武)